

JAMA NEWS

NO. 33

The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1 立命館大学経営学部 日本管理会計学会事務局

会長就任にあたり今後の抱負と期待について

立命館大学 浅田孝幸

昨年の早稲田大学での年次全国大会において、多くの会員からご支援をいただきありがとうございました。私の学会での役割は何であろうかと自問してみましたが、なかなか確たるものは思い浮かびません。本学会では、これまでの会長ならびに副会長の様々な企画力と会員各自の努力により、実に様々な活動が展開されてきました。そこで、私の抱負としましては、20年にわたる学会の歴史を踏まえて、次の3点を強化していきたいと思っております。

1つ目は、学会誌です。査読誌という性格を持つ学会誌は、若手研究者のデビューの手段としての役割が固まってきました。読むには面白くない論文が増えたという指摘もありますが、研究者のキャリアを支える基礎として重要であることを改めて確認するものであり、この点で論文誌としての内容およびレベルの2つを是非とも維持・拡大・強化していきたいと思っております。皆様の査読者としての役割も益々期待するところでもあります。

2つ目は、会員にとっての大きな刺激の場として、年次全国大会、フォーラム、企業研究、リサーチセミナー、地方部会という目的の異なる5本立ての継続と開催場所のスケジュール決定をより速やかに進めていきたいと思っております。とりわけ、年次全国大会とフォーラムについて

は、テーマ性を高めて内容の充実をも図りたいと思っております。また、そのための委員会を充実させたいと思っております。

3つ目は、連携です。リサーチセミナーでは、日本原価計算研究学会と共同開催させていただいておりますが、このような連携や産業界・会計専門職団体との連携等を行うことで、学際性、多面性、国際性などの重要な研究展開になる場を作っていければと思います。とりわけ、アジア太平洋管理会計学会(APMAA)との一層の連携が図れるようにしていきたいと思っております。日本の大学教育機関としての現状を見ると、教育の国際化と研究の国際化は待たなしという現状であり、とりわけ教育の国際化・英語化の流れはもはや止めることは不可能なレベルに来ており、研究はそれを先取りすべきものであると思っております。個人としての努力もさることながら、組織的な努力を学会としても行うべきであると思う次第です。

個人的な見解に留まることなく、上記の抱負とともに、20周年を迎えるわれわれの学会が、日本の転換点でもある2011年において次の10年を見据えた新たな期待と挑戦的な意識をもって、皆様とともにその充実と成長を図りたいと思っております。どうか会員の皆様のご支援・ご助言を心から御願ひ申し上げます。

新役員決定

▼ 副会長4名決定

2011年4月3日開催の理事会での審議の結果、4名の副会長が選任されました。

▼ 常務理事15名決定

2011年4月3日開催の理事会での常務理事の選挙の結果、15名が常務理事に選任されました。

▼ 理事8名追加決定

2011年4月3日開催の理事会での審議の結果、役員選任規程第6条(3)により選任される理事として8名が選

任されました(参照:新役員一覧「理事」の※印)。

▼ 顧問2名決定

2011年4月23日開催の常務理事会での審議の結果、役員選任規程第10条により選任される顧問として2名が選任されました。

▼ 参事8名決定

2011年4月3日開催の常務理事会での審議の結果、7名が選任され、同4月23日開催の常務理事会での審議の結果、1名が追加選任されました。

新役員一覧

(敬称略, 任期: 2011.4.1~2014.3.31)

<p>■ 会 長 浅田孝幸 (立命館大学)</p> <p>■ 副 会 長 伊藤和憲 (専修大学) 園田智昭 (慶應義塾大学) 浜田和樹 (関西学院大学) 水野一郎 (関西大学)</p> <p>■ 常務理事 李 健泳 (新潟大学) 石崎忠司 (中央大学) 上 埜 進 (甲南大学) 大島正克 (亜細亜大学) 小倉 昇 (青山学院大学) 片岡洋一 (目白大学) 河合 久 (中央大学) 菊井高昭 (上智大学) 小菅正伸 (関西学院大学) 小林啓孝 (早稲田大学) 崎 章浩 (明治大学) 佐藤紘光 (早稲田大学) 辻 正雄 (早稲田大学) 長坂悦敬 (甲南大学) 長谷川泰隆 (麗澤大学) 原田 昇 (東京理科大学) 門田安弘 (筑波大学)</p>	<p>山田庫平 (明治大学) 横山和夫 (東京理科大学) 吉岡正道 (東京理科大学)</p> <p>■ 理 事 青木茂男 (茨城キリスト教大学) 青木雅明 (東北大学) ※ 新江 孝 (日本大学) ※ 伊藤嘉博 (早稲田大学) 井岡大度 (国士舘大学) 今林正明 (目白大学) 大下丈平 (九州大学) 尾畑 裕 (一橋大学) 加登 豊 (神戸大学) 昆 誠一 (九州産業大学) 芝尾芳昭 (イノベーション・ マネジメント(株)) ※ 清水 孝 (早稲田大学) 清水信匡 (早稲田大学) 白銀良三 (国士舘大学) 鈴木研一 (明治大学) 長屋信義 (産業能率大学) 河 榮徳 (早稲田大学) 朴 景淑 (摂南大学) ※ 平岡秀福 (創価大学) 星 法子 (白鷗大学)</p>	<p>星野優太 (名古屋市立大学) ※ 山下裕企 (愛知大学) 山本達司 (名古屋大学) ※ 山本正彦 (愛知東邦大学) 吉村 聡 (流通経済大学) 八木和則 (横河電気(株)) ※ 和田淳蔵 (岡山大学) ※</p> <p>■ 顧 問 田中雅康 (東京理科大学) 宮本寛爾 (大阪学院大学)</p> <p>■ 監 事 廣瀬哲夫 (日本公認会計士協会) 鈴木浩三 (東京都庁) 小宮山 賢 (あずさ監査法人)</p> <p>■ 参 事 岩田弘尚 (専修大学) 内山哲彦 (千葉大学) 岡 照二 (関西大学) 坂手啓介 (大阪商業大学) 椎葉 淳 (大阪大学) 鈴木孝則 (早稲田大学) 三浦徹志 (大阪成蹊短期大学) 山口直也 (新潟大学)</p>
---	---	---

役員業務分担

業務内容	責任者	メンバー (※は副責任者)
フォーラム	園田副会長	※李常務理事, 水野副会長, 原田常務理事, 尾畑・鈴木・平岡理事
企業研究・工場見学	園田副会長	※大島常務理事, 小菅・清水(孝)・長谷川常務理事, 新江・山下理事
リサーチセミナー	浜田副会長	※小林常務理事, 小倉・長坂常務理事, 伊藤・河・長屋・星理事
地方部会	上埜常務理事	※小菅理事, 李・石崎・大下常務理事, 清水(信)・山本(正)・和田理事
内外学会コラボレーション	辻常務理事	※吉岡常務理事, 水野副会長, 横山常務理事, 加登理事
実務家交流	長坂常務理事	※長谷川常務理事, 園田副会長, 井岡・昆・芝尾・八木理事
学会誌	佐藤常務理事	※鈴木理事, 小倉・原田・門田常務理事, 青木(雅)・山本(達)理事
学会賞 (論文賞・文献賞・奨励賞)	浜田副会長	※菊井常務理事, 伊藤副会長, 佐藤・吉岡常務理事, 青木(雅)・鈴木理事

広報 (JAMA NEWS・HP 等)	伊藤副会長	※河合常務理事, 小倉・崎常務理事, 尾畑・白銀理事
会員・寄付・募金	山田常務理事	※片岡常務理事, 今林・清水 (孝)・星野・吉村理事, 田中顧問
総務 (予算・決算・会則等)	水野副会長	※横山常務理事, 石崎・吉岡常務理事, 朴理事

各種業務計画

創設 20 周年記念事業	小倉・辻 常務理事	※原田常務理事, 浅田会長, 上埜・片岡・横山常務理事, 青木 (茂) 理事
--------------	--------------	---

フォーラム担当

慶應義塾大学 園田智昭

2011年度のフォーラムのスケジュールは、以下のとおりです。

- 第1回2011年4月23日 (土) : 大阪大学 (椎葉淳大会準備委員長) で開催しました。
 - 第2回2011年7月16日 (土) : 成城大学 (塘誠大会準備委員長) で開催しました。
 - 第3回2011年12月10日 (土) : 未定
- フォーラムは、会員による報告だけではなく、会員以外の実務家にも報告を依頼することも多く、比較的オープンな雰囲気で開催しています。開催頻度は年3回ですが、関東1回、関西1回、それ以外の地域1回を考えています。

フォーラムの開催については、メーリングリストにより連絡させて頂くほかに、HPでも開催案内を掲示させて頂きまますので、積極的なご参加をお願い致します。

企業研究・工場見学担当

慶應義塾大学 園田智昭

2011年度の企業研究・工場見学のスケジュールは、以下のとおりです。

- 第1回2011年7月15日 (金) : (株)明治 坂戸工場で開催しました。
- 第2回2011年9月11日 (日) : ボッシュ(株) 寄居工場を予定しています。

企業研究・工場見学は、企業を訪問して工場見学等を実施し、その企業に勤務している実務家の方にご講演をお願いしています。開催頻度は年に2回で、フォーラムや地方部会の前日等に行われることもあります。

企業研究・工場見学の開催については、メーリングリ

ストにより連絡させて頂く他に、HPでも開催案内を掲示させて頂きまますので、積極的なご参加をお願い致します。

リサーチセミナー担当

関西学院大学 浜田和樹

リサーチセミナーは、年2回開催することになっており、若手研究者や大学院生の研究報告を中心に実施する予定です。このセミナーは、研究者、学生間で自由に議論し合うことのできる場を提供することを目的としています。国内外の他学会との交流を深めるために、また当学会の地方部会との連携を強めるために、共同で開催する機会を多く持ちたいと思っています。

2011年度実施のリサーチセミナーは、次の通りです。

- 第1回2011年7月23日 (土) : 早稲田大学
日本原価計算研究学会と共同で実施しました。
- 第2回2011年11月12日 (土) : 場所は未定
日本管理会計学会九州部会と共同で実施します。

地方部会担当

甲南大学 上埜 進

日本管理会計学会では、地方部会として関西・中部部会と九州部会を置いています。地方部会の最大行事である部会大会では、全国に分散する会員の方々に研究報告の場を身近に提供しております。部会大会には、新会員の獲得など、学会の足腰を強くするといった役割もあります。また、日本公認会計士協会の地方会員にCPEの機会を提供など、部会大会を広く解放することにより、コミュニティへ貢献の強化を進めております。近年、経済活動はもちろん、研究・教育活動がグローバルしており、部会活動のグローバル化が期待されています。そこで本年6月25日の関西・中部部会大会は、アジア太平洋管理会計学会 (Asia-Pacific Management Accounting

Association: APMAA)との共催を試みました。地方部会活動への一層のご支援をお願い申し上げます。

内外学会コラボレーション担当

早稲田大学 辻 正雄

アジア太平洋管理会計学会(Asia-Pacific Management Accounting Association: APMAA)や日本原価計算研究学会との連携をより一層充実させるとともに、国内外の震災や原発問題等の昨今の事情を踏まえ、今後はNPO学会やリスクマネジメント学会等との連携を進めていきたいと考えております。7月23日に早稲田大学で開催された第1回のリサーチセミナーは、日本原価計算研究学会とのコラボレーションの結果です。

実務家交流担当

甲南大学 長坂悦敬

年次全国大会や各部会大会で、企業家の積極的な参加、共同報告（テーマセッションとして、特定テーマについて企業の事例発表を行う等）を企画していきたいと考えております。また、各大会において日本公認会計士協会CPE認定研修プログラムとして承認を受け、公認会計士の方々との交流を増やすことも重要なポイントであると考えております。さらに、各部会や会員の先生方が個別に企画、運営される産学共同での研究活動について可能な範囲で広く会員にも紹介し合い、相互啓発を図れるような試みも相談していきたいと考えております。

学会誌担当

早稲田大学 佐藤絃光

引き続き、学会誌「管理会計学」の編集委員長を務めることになりました。学会誌の充実を通じて、本学会の研究活動の一層の進展に微力を尽くして参りたいと考えております。何卒、よろしくご協力いただきますようお願い申し上げます。従来どおり、年2回の発刊を予定しております。学会誌投稿規定に従って、皆様、奮ってご投稿いただきますよう、ご案内申し上げます。

投稿先：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学商学学術院 鈴木孝則研究室 気付
日本管理会計学会 学会誌編集委員長 佐藤絃光
E-mail : hiromitu@waseda.jp

学会賞担当

特別賞・功績賞担当 立命館大学 浅田孝幸
論文賞・文献賞・奨励賞担当
関西学院大学 浜田和樹

■ 学会賞の種類

- (1) 特別賞：管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論もしくは応用について、多年にわたり特に優れた研究業績や教育業績があると認められた者または本学会の運営に特に顕著な功績があると認められた者に授与する。
- (2) 功績賞：学会の大会及び研究会等での報告や執筆で顕著な貢献があるととともに学会活動に顕著な貢献があったと認められる者に授与する。
- (3) 論文賞：管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論または応用の発展に貢献するところが顕著であると認められる論文の執筆者に授与する。受賞対象論文は学会誌に掲載された論文とする。
- (4) 文献賞：管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論または応用の発展に貢献するところが顕著であると認められる論文以外の著書等の著者に授与する。
- (5) 奨励賞：若手研究者の研究を奨励するため、管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論または応用について内外の研究誌等に掲載された論文等の執筆者に授与する。

■ 事業計画

上記の学会賞に適合した学会員を公正かつ透明に選定し、来る年次全国大会の総会で承認を受け表彰します。

広報担当

専修大学 伊藤和憲

広報活動には、メーリングリストによる各種研究会(年次全国大会、フォーラム、リサーチセミナー、地方部会、企業研究会)の案内、学会全般に関わる規定改定などの連絡、ホームページ(HP)のメンテナンス、それにJAMA NEWSの発行があります。これまでも会員相互間の研究・教育に関する情報交換を始めとし、いろいろな情報を会員に迅速に周知することに努めてきました。一層のタイムリーな情報提供という点から、広報委員会での話し合いにより、以下のような当面の事業計画と将来計画を立案しました。

■ 事業計画

今年度から新会長のもとで新しい事業活動にチャレンジしようとしています。そこで、このチャレンジする学会に相応しいHPのデザインへとリニューアルを計画します(一部のメニューでは既にインパクトのある画面を構築済みです)。また、現在では紙媒体でしか発行していないJAMA NEWSをHP上で公開することを計画しています。

■ 将来計画

このようにHPの充実を図り、HP自体がニュース発信媒体となることで、タイムリーな情報が迅速に会員間で共有できるようになります。JAMA NEWSを紙媒体からHPに代替することは将来的な検討事項とし、当面は並行して走らせたいと考えています。

会員・寄付・募金担当

明治大学 山田庫平

2011年7月16日現在、正会員649名、準会員83名、賛助会員8社、特別会員1名、合計741会員となっております。会員数は、ここ10年程前から、賛助会員を含めて690~740の間で増減しております。本学会は、学会活動をさらに活発化させるために、数年前から会員数1,000を目標にしております。しかし、これまでの経緯からみて、ここ1、2年でこの目標の達成は到底無理であろうと考えます。今後は会員数1,000を目標に次のような地道な活動が必要と考えます。

- (1) 会員を地域別にみると、関東以外の地域における会員がかなり少ないということから、関東以外の地域における会員の増加を図ることが必要です。
- (2) 実務家の会員は、ここ数年増加の傾向にありますが、さらに増加を図ることが必要です。
- (3) 上記(1)、(2)の会員の増加を図るために、また関東地域における会員のさらなる増加を図るために、各会員に関係者の紹介を依頼する予定です。

企業等からの寄付・募金については、それを働きかけるために、各会員に企業の紹介等を依頼する予定です。

総務担当

関西大学 水野一郎

予算、決算、会則等の「総務」を担当することになりました。業務内容は地味なものですが、学会組織のベースとなるものであり、職責上の重さを実感しております。

浅田会長とも緊密にしっかりと相談しながら、業務を遂行していきたいと考えております。また前年度まで長く責任者を務められた崎先生からもご教示いただきながら、会費の納入率の向上に引き続き、努めていきます。そのためにも魅力ある企画と会員の参加・拡大とを結びつけることが重要であり、会員・寄付・募金担当の山田先生、フォーラム、企業研究・工場見学担当の園田先生、実務家交流担当の長坂先生とも相談し、一層の連携を図っていきたくと思っています。

創設20周年記念事業担当

青山学院大学 小倉 昇

- (1) 20周年記念大会：関西大学を会場に10月7日(金)~9日(日)に開かれる2011年度年次全国大会では、20周年記念大会として初代会長の片岡洋一先生の記念講演、謝志華教授(北京工商大学副学長)の招待講演を計画しています。また、英文論文誌とタイアップした英語研究報告セッションも開催する予定です。
- (2) 学会20年史：年次全国大会の研究報告の記録、フォーラムや地方部会の活動の記録を集め、記念大会での配布を目指して、編集作業の進行中です。
- (3) 英文誌の刊行：創設20周年記念事業の一環として、*The Journal of Management Accounting, Japan*の特別号の刊行を企画しております。同号は、海外の研究者に日本の管理会計研究の現状を知って頂くことを刊行の第一目的にしております。論文の応募申し込みは2010年12月31日に締め切っており、12件の申し込みがありました。刊行は2012年の予定です。
- (4) 「管理会計学大辞典」の改訂：本学会10周年事業のひとつとして、「管理会計学大辞典」(2000年、中央経済社)を刊行しましたが、その後10年間に、新しい専門用語も多く生まれ、管理会計実務の事例も古くなりました。現状に合わせた改訂が必要であると認識で、新しい辞典の編集を検討中です。

学会業務日誌

2011年4月23日(土)

▼常務理事会開催(大阪大学豊中キャンパス)

- ◆ 2011年度事業計画(案)が承認されました(詳細につきましては6ページをご覧ください)。
- ◆ 常務理事および理事の業務分担(案)が承認されました(詳細につきましては2~3ページをご覧ください)。

- ◆ 新入会員13名、退会者4名が承認されました。
- ◆ 2011年4月19日現在、正会員は646名、準会員は80名、特別会員は1名、賛助会員は8社、合計会員数は735会員であることが報告されました。

<事業計画>**研究活動について:**

- 年次全国大会 年1回開催 (関西大学)
- フォーラム 年3回開催
- 企業研究会・工場見学 2回開催
- リサーチセミナー 3回開催
- 地方部会:九州部会, 関西・中部部会
- 学会誌『管理会計学』年2回刊行
- 学会賞の授与
- 内外学会とのコラボレーションの推進

広報・会員サービスについて:

- 学会ホームページの充実
- JAMA NEWS の年2回刊行
- 会員メーリングリストの整備

その他:

- 創設 20 周年記念事業の推進
- 会員数の増大と財政基盤の拡充
- 被災地の復興支援について

2011年7月16日(土)

▼常務理事会開催(成城大学)

- ◆ 2010年度収支決算(案)が承認されました。
- ◆ 2011年度収支予算(案)が承認されました。
- ◆ 新入会員12名, 退会者6名が承認されました。
- ◆ 国際学会参加費の助成が承認されました。
- ◆ メルコ学術振興財団設立5周年記念国際シンポジウムへの協賛が承認されました。
- ◆ 2011年度年次全国大会(関西大学)の準備が学会創設20周年記念大会として順調に進んでいることが報告されました。
- ◆ 2011年7月16日現在, 正会員は649名, 準会員は83名, 賛助会員は8社, 特別会員は1名, 合計会員数は741会員であることが報告されました。

新入会員の紹介

- 正会員(敬称略)
14名入会
- 準会員(敬称略)
11名入会

※JAMA NEWS No.32以降, 7月16日現在

事務局からのお知らせ

- 学会事務局が以下の通り, 立命館大学に移転し, メールアドレスも変更となりましたので, お知らせいたします。
- フォーラムやリサーチセミナーの案内等, 会員宛の連絡にEメールを活用したいと考えています。Eメールアドレスを未登録の方は, 学会事務局までご連絡ください。また, すでに登録されている方で, 案内等が届かない, あるいは, Eメールアドレスに変更があった場合には, 速やかに学会事務局までご連絡ください。

日本管理会計学会広報 責任者 : 伊藤和憲

メンバー : 小倉 昇, 尾畑 裕, 河合 久, 崎 章浩, 白銀良三, 岩田弘尚

発行機関 : 日本管理会計学会

<本部事務局> 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1 立命館大学経営学部 日本管理会計学会事務局
 E-mail : jama-info@sitejama.org
<http://www.sitejama.org/>